

花き類・樹木類などの害虫防除に
すぐれた効果を発揮する

カルホス[®] 乳剤

特長

1. 接触毒と食毒の両作用により、幅広い害虫に有効です。
2. 作物への吸収移行がないので、残留・残臭が少ない殺虫剤です。
3. 悪臭や刺激性が少なく、使いやすい薬剤です。



■適用害虫名及び使用方法(花き類・樹木類)

(平成23年2月現在の登録内容)

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソキサチオンを含む農業の総使用回数
樹木類 (つばき類、まさき、もっこく、 さくら、プラタナスを除く)	ツノロウムシ	1000	-	3回以内	散布	3回以内
つばき類	ツノロウムシ チャドクガ			6回以内		6回以内
まさき	ツノロウムシ ユウマダラエダシャク					
もっこく	ツノロウムシ モッコクハマキ					
さくら プラタナス	ツノロウムシ アメリカシロヒトリ					
すぎ	スギザイノタマバエ	50~100	成虫発生初期	4回以内	樹皮表面積1m ² 当り 600ml樹幹散布	4回以内
まつ	マツコナカイガラムシ	1000	-	3回以内	散布	3回以内
花き類・観葉植物 (きく、ガーベラ、シクラメン及び アジアンタムを除く)	オンシツコナジラミ若齢幼虫			4回以内		4回以内
きく ガーベラ	マメハモグリバエ オンシツコナジラミ若齢幼虫					



カルホス[®] 乳剤

■有効成分：
イソキサチオン…50.0%
■人畜毒性：医薬用外劇物

■適用害虫名および使用方法

(平成23年2月現在の登録内容)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソキサチオンを含む農薬の総使用回数	
とうもろこし	アワノメイガ	1000	収穫30日前まで	2回以内	散布	2回以内 (種子粉衣は1回以内)	
みかん	ゴマダラカミキリ成虫	1500		4回以内		4回以内	4回以内
	ヤノカイガラムシ ツノロウムシ サンホーゼカイガラムシ ミカンハモグリガ コカクモンハマキ クワゴマダラヒトリ若齢幼虫 ミカンサビダニ ヒラタカタカイガラムシ イセリヤカイガラムシ	1000~1500					
	コナカイガラムシ類 ミノムシ ケシキスイ類 カネタタキ	1000 5000					
いちご(仮植床)	コガネムシ類幼虫	1000~1500	植付後	1回	1㎡当たり3ℓ灌注	1回	
キャベツ	アオムシ コナガ	1500~2000	収穫21日前まで		散布		
たまねぎ	タマネギバエ	500~1000	定植前	1回	育苗箱 (約30×60×2.5cm、 使用土壌約2ℓ) 1箱当たり希釈液500mlを 土壌灌注する。	1回	
さとうきび	アオドウガネ幼虫 ハリガネムシ類	1000	夏季生育期 まで	3回以内	1㎡当たり1.8ℓ土壌灌注	5回以内 (種苗浸漬は1回以内、 植付時の土壌混和は 1回以内、 植付後は3回以内)	
	ハリガネムシ類		植付前	12時間種苗浸漬			
茶	コカクモンハマキ チャノホンガ ヨモギエダシャク クワシロカイガラムシ チャノホコリダニ	1500	摘採21日 前まで	1回	散布	1回	
たばこ	ジャガイモガ	1000	—	2回以内	2回以内	2回以内	
	タバコガ ヤサイソウムシ	1000~1500					
	ヨトウムシ	1500~2000					
芝	スジキリヨトウ シバツトガ シバオサソウムシ ケラ コガネムシ類 タマネヤガ幼虫	1000	発生初期	6回以内	1㎡当たり1~2ℓ散布	6回以内	

■効果・薬害等の注意

- ホルドー液、石灰硫黄合剤との混用はさけてください。
- 芝に使用する場合は、土壌面まで濡れるように十分な液量を散布してください。
- オンシツコナジラミに対しては若齢幼虫には有効ですが、卵、蛹には効果が低いので、若齢幼虫の多い時期をねらって約1週間間隔でくり返し散布してください。
- いちごのコガネムシ類幼虫には仮植床に植え付けた後、床面全面にジョロなどによって所定量を均一に灌注してください。
- とうもろこしのアワノメイガには雄穂の出穂前後の2回散布が効果的です。
- すぎのスギザイノタマバエ防除に使用する場合は、成虫の発生初期に地上3mの高さの樹幹部に樹皮表面積1㎡当たり600mlを標準として散布してください。
- さとうきびのハリガネムシ類防除に種苗浸漬処理で使用する場合は、所定時間浸漬後風乾してから植え付けてください。
- さとうきびのアオドウガネ幼虫防除に使用する場合は、なるべく若齢幼虫の多い時期に灌注してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ・ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - ・受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
 - ・養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意するなど、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 畜に対して影響があるので、周辺の薬液にはかからないように注意して散布してください。
- シクラメン、アジアンタムには薬害を生ずるので、かからないように注意して散布してください。
- たまねぎ(育苗箱)に使用する場合は、軟弱苗などには薬害を生ずるおそれがあるので留意してください。
- 自動車や壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかからないように注意してください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種にはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導をなるべく受けてください。

■安全使用上の注意

- 体調の悪いとき、妊娠中、飲酒後などは取扱いおよび作業をしないでください。
- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 皮膚に対して刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 薬液調製時及び使用の際は保護メガネ、防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- ハウスで使用する場合は、換気に十分注意し、薬液がハウス内にこもらないようにしてください。使用後は十分に換気して入室してください。
- 街路、公園などで使用する場合は、使用中および使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 水産動植物に通常の使用方法では影響は少ないですが、一時に広範囲に使用する場合には十分注意してください。
- 治療法：本剤の解毒剤としては、硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤が有効であると報告されています。
- 密栓し、火気をさけ、食品と区別して、直射日光の当たらない冷涼な所にカギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

包装：100ml×60本、500ml×20本

■きくのマメハモグリバエに対する効果

平成3年 愛知農総園芸研究所



発生状況：中発生(幼虫発生初期)

品種：キャロル

定植：10月30日

処理方法：12月9日に所定濃度の薬液を肩掛噴霧器を用いて10a当たり120ℓ散布した。

調査：散布7日後に幼虫食害痕の認められる葉を全数採取し、幼虫の生死を顕微鏡下で観察するとともに採取葉を恒温槽に入れ、1月6日まで蛹化数、羽化数を調査した。

考察：無処理と比較して効果が高く、実用性が高い。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 容器・空袋などは園場などに放置せず、適切に処理してください。
- 防除日誌を記載しましょう。

製造 保土谷UPL株式会社
東京都中央区日本橋三丁目14番5号

日本曹達株式会社
本社 〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号
☎(03)3245-6178 FAX(03)3245-6084
ホームページアドレス <http://www.nippon-soda.co.jp/nougoy/>
大阪支店 ☎(06)6229-7343 東京営業所 ☎(03)3279-6961
札幌営業所 ☎(011)241-5581 名古屋営業所 ☎(052)238-0003
仙台営業所 ☎(022)227-1741 福岡営業所 ☎(092)771-1336
信越営業所 ☎(0256)81-2323 松山営業所 ☎(089)931-7315
販売 NO.274-1103Z